

「クラシック名曲えほん」をあんふぁん読者が体験

目と耳で楽しむ絵本誕生 「こんなの初めて！」

民主音楽協会から新登場の「クラシック名曲えほん」は、「クラシック音楽の名曲」と「名作童話」という今までにない新しい絵本。

あんふぁん読者の土屋友紀さん（33歳）・舞喜（まき）ちゃん（年長）親子も「新しい絵本の楽しみ方ができる」と夢中です。



一緒に「クラシック名曲えほん」を楽しむ土屋さん親子。コミュニケーションもバッチリ！

●「クラシック名曲えほん」って？
朗読あり・ながしが選べる名曲CD付き



「クラシック名曲えほん」AB判・32ページ・CD1枚付属

「クラシック名曲えほん」は「絵本」と「朗読と音楽CD」のセットで、目と耳で芸術の世界に触れることができます。ストーリー・収録曲は、共に子どもが集中できる長さ。オムニバス形式なので、お気に入りを見つけやすいのも特徴です。
収録童話●グリム童話「しらゆきひめ」、インソップ寓話「ライオンとねずみ」、アンデルセン作「はだかの王さま」
主な収録曲●ヴィヴァルディ 協奏曲集作品8「四季」、チャイコフスキーバレエ音楽「くるみ割り人形」作品71など

朗読●女優の田中好子さんが「しらゆきひめ」「ライオンとねずみ」、振り付け師として幅広い活躍をしているパバイヤ鈴木さんが、「はだかの王さま」を担当しています
対象年齢●3歳～小学校低学年
価格●2200円



田中好子さん



パバイヤ鈴木さん

●購入方法
購入はFAX注文か楽天市場で

FAX●氏名・住所・電話番号・冊数を記入の上、下記番号まで送信してください。商品宅配の際に、商品代金と宅配料および代引き手数料を配送業者に支払ってください

FAX0436 (22) 2832

※宅配料は北海道・九州・離島など一部地域を除き50冊まで一律500円※代引き手数料は商品代金1万円以下が300円、1万1円～3万円が400円、3万1円以上が500円※個人情報「クラシック名曲えほん」の販売のみに使用します

楽天市場●「音和生活」(民音オンラインショップ)にアクセス
<http://item.rakuten.co.jp/onwa/10000147/>

視聴もできる特設ウェブサイト開設!

「クラシック名曲えほん」の特設ウェブサイトでは、絵本の一部をナレーション・音楽付きで試読できます。
http://www.min-on.or.jp/kids/classic_ehon/

●問い合わせ

民音
☎03(5362)3470
<http://www.min-on.or.jp/>

●検索するならこれでクリック!

みんおん 検索



携帯電話での購入はこちらから
※携帯電話の機種によっては、読み込み・利用ができない場合があります

音楽がそれ以上に膨らませ

「この絵本は目と耳からイメージできるのがいじです

み方ができたと思います」

すね。

入りの様子。

の読み聴かせもしたのだそう。「ページの左上に曲名が書いてあるので、それに合わせて読みました。テンポのいいにぎやかな曲のときには元気に読み、曲が変わるまで読むのを待つなど、これまでできなかったような新しい絵本の読み方ができたと思います」

楽しむことができます。「音楽を聴きながらの絵本は楽しいよ」と、舞喜ちゃんもお気に入りの様子。

友紀さんは音楽に合わせての読み聴かせもしたのだそう。「ページの左上に曲名が書いてあるので、それに合わせて読みました。テンポのいいにぎやかな曲のときには元気に読み、曲が変わるまで読むのを待つなど、これまでできなかったような新しい絵本の読み方ができたと思います」

その日の気分や、子どもの年齢、発達段階などに合わせて

友紀さんは音楽に合わせての読み聴かせもしたのだそう。「ページの左上に曲名が書いてあるので、それに合わせて読みました。テンポのいいにぎやかな曲のときには元気に読み、曲が変わるまで読むのを待つなど、これまでできなかったような新しい絵本の読み方ができたと思います」

聴いたりするだけでもOK。

友紀さんは音楽に合わせての読み聴かせもしたのだそう。「ページの左上に曲名が書いてあるので、それに合わせて読みました。テンポのいいにぎやかな曲のときには元気に読み、曲が変わるまで読むのを待つなど、これまでできなかったような新しい絵本の読み方ができたと思います」

その日の気分や、子どもの年齢、発達段階などに合わせて

友紀さんは音楽に合わせての読み聴かせもしたのだそう。「ページの左上に曲名が書いてあるので、それに合わせて読みました。テンポのいいにぎやかな曲のときには元気に読み、曲が変わるまで読むのを待つなど、これまでできなかったような新しい絵本の読み方ができたと思います」

聴いたりするだけでもOK。

友紀さんは音楽に合わせての読み聴かせもしたのだそう。「ページの左上に曲名が書いてあるので、それに合わせて読みました。テンポのいいにぎやかな曲のときには元気に読み、曲が変わるまで読むのを待つなど、これまでできなかったような新しい絵本の読み方ができたと思います」

その日の気分や、子どもの年齢、発達段階などに合わせて

友紀さんは音楽に合わせての読み聴かせもしたのだそう。「ページの左上に曲名が書いてあるので、それに合わせて読みました。テンポのいいにぎやかな曲のときには元気に読み、曲が変わるまで読むのを待つなど、これまでできなかったような新しい絵本の読み方ができたと思います」

聴いたりするだけでもOK。

友紀さんは音楽に合わせての読み聴かせもしたのだそう。「ページの左上に曲名が書いてあるので、それに合わせて読みました。テンポのいいにぎやかな曲のときには元気に読み、曲が変わるまで読むのを待つなど、これまでできなかったような新しい絵本の読み方ができたと思います」

その日の気分や、子どもの年齢、発達段階などに合わせて

友紀さんは音楽に合わせての読み聴かせもしたのだそう。「ページの左上に曲名が書いてあるので、それに合わせて読みました。テンポのいいにぎやかな曲のときには元気に読み、曲が変わるまで読むのを待つなど、これまでできなかったような新しい絵本の読み方ができたと思います」

聴いたりするだけでもOK。

友紀さんは音楽に合わせての読み聴かせもしたのだそう。「ページの左上に曲名が書いてあるので、それに合わせて読みました。テンポのいいにぎやかな曲のときには元気に読み、曲が変わるまで読むのを待つなど、これまでできなかったような新しい絵本の読み方ができたと思います」

その日の気分や、子どもの年齢、発達段階などに合わせて

友紀さんは音楽に合わせての読み聴かせもしたのだそう。「ページの左上に曲名が書いてあるので、それに合わせて読みました。テンポのいいにぎやかな曲のときには元気に読み、曲が変わるまで読むのを待つなど、これまでできなかったような新しい絵本の読み方ができたと思います」

聴いたりするだけでもOK。

友紀さんは音楽に合わせての読み聴かせもしたのだそう。「ページの左上に曲名が書いてあるので、それに合わせて読みました。テンポのいいにぎやかな曲のときには元気に読み、曲が変わるまで読むのを待つなど、これまでできなかったような新しい絵本の読み方ができたと思います」

その日の気分や、子どもの年齢、発達段階などに合わせて

友紀さんは音楽に合わせての読み聴かせもしたのだそう。「ページの左上に曲名が書いてあるので、それに合わせて読みました。テンポのいいにぎやかな曲のときには元気に読み、曲が変わるまで読むのを待つなど、これまでできなかったような新しい絵本の読み方ができたと思います」

聴いたりするだけでもOK。

友紀さんは音楽に合わせての読み聴かせもしたのだそう。「ページの左上に曲名が書いてあるので、それに合わせて読みました。テンポのいいにぎやかな曲のときには元気に読み、曲が変わるまで読むのを待つなど、これまでできなかったような新しい絵本の読み方ができたと思います」

その日の気分や、子どもの年齢、発達段階などに合わせて

友紀さんは音楽に合わせての読み聴かせもしたのだそう。「ページの左上に曲名が書いてあるので、それに合わせて読みました。テンポのいいにぎやかな曲のときには元気に読み、曲が変わるまで読むのを待つなど、これまでできなかったような新しい絵本の読み方ができたと思います」

聴いたりするだけでもOK。

友紀さんは音楽に合わせての読み聴かせもしたのだそう。「ページの左上に曲名が書いてあるので、それに合わせて読みました。テンポのいいにぎやかな曲のときには元気に読み、曲が変わるまで読むのを待つなど、これまでできなかったような新しい絵本の読み方ができたと思います」

その日の気分や、子どもの年齢、発達段階などに合わせて

友紀さんは音楽に合わせての読み聴かせもしたのだそう。「ページの左上に曲名が書いてあるので、それに合わせて読みました。テンポのいいにぎやかな曲のときには元気に読み、曲が変わるまで読むのを待つなど、これまでできなかったような新しい絵本の読み方ができたと思います」

聴いたりするだけでもOK。

友紀さんは音楽に合わせての読み聴かせもしたのだそう。「ページの左上に曲名が書いてあるので、それに合わせて読みました。テンポのいいにぎやかな曲のときには元気に読み、曲が変わるまで読むのを待つなど、これまでできなかったような新しい絵本の読み方ができたと思います」

その日の気分や、子どもの年齢、発達段階などに合わせて

友紀さんは音楽に合わせての読み聴かせもしたのだそう。「ページの左上に曲名が書いてあるので、それに合わせて読みました。テンポのいいにぎやかな曲のときには元気に読み、曲が変わるまで読むのを待つなど、これまでできなかったような新しい絵本の読み方ができたと思います」



「もう1回聴こう」と舞喜ちゃん。親しみやすい童話とのコラボで、すんなりとクラシック音楽の世界になじめます